

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 15 週（4 月 8 日～4 月 14 日）

＜全数把握対象疾患の患者情報＞

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	2 人 類型 患者 1 人、 無症状病原体保有者 1 人 血清型 O157 1 人、O 不明 1 人
四類感染症 レジオネラ症	2 人 病型 肺炎型 2 人
五類感染症 アメーバ赤痢	1 人 病型 腸管アメーバ症
劇症型溶血性連鎖球菌感染症	3 人 血清群 A 群 3 人
侵襲性肺炎球菌感染症	2 人
梅毒	9 人 病型 早期顕症 I 期 5 人、 無症状病原体保有者 4 人
百日咳	1 人 年齢階級 3 歳

＜定点把握対象疾患の患者情報＞

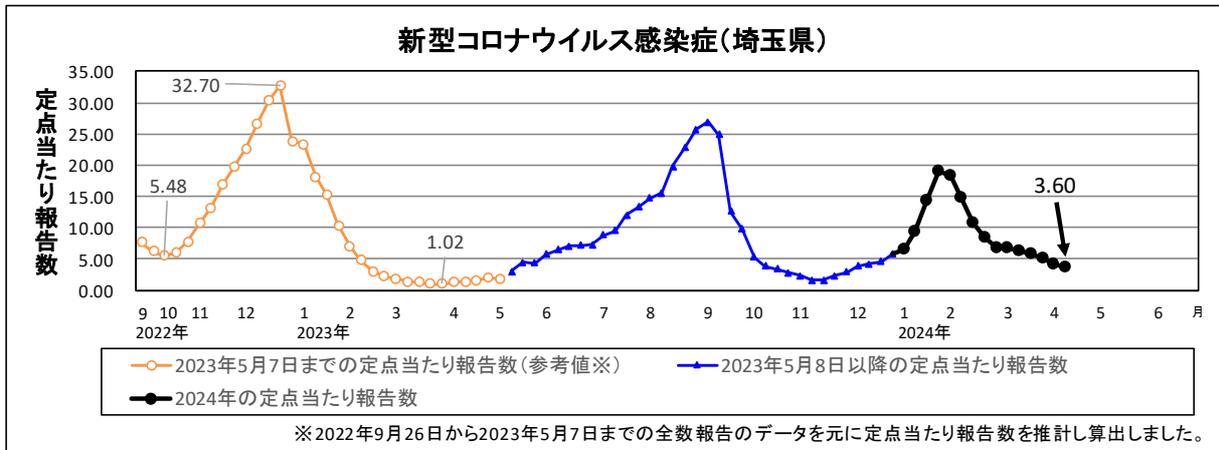
新型コロナウイルス感染症(4.16→3.60:図1)の定点当たり報告数は、第9週以降、緩やかな減少傾向が続いている。保健所別では、鴻巣(5.33)、坂戸(5.20)、狭山(5.20)保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は45人(前週40人)であった。年齢階級別では、70歳以上が全体の約76%であった。RSウイルス感染症(1.35→1.82:図2-1～2)の定点当たり報告数は第11週以降増加傾向にあり、過去4年の同時期と比較しても高い水準にある。保健所別では、前週に引き続き南部(6.40→6.00)保健所管内からの報告が非常に多く、幸手(3.22)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では1歳以下の報告が多く、全体の約58%であった。インフルエンザ(6.21→2.91:図3)の定点当たり報告数は、12週以降減少傾向が続いており、県内全保健所管内において、2週連続で前週の値を下回った。眼科定点報告疾患では、流行性角結膜炎12人の報告があった。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎1人、インフルエンザ(入院)1人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第15週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2-1 RSウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

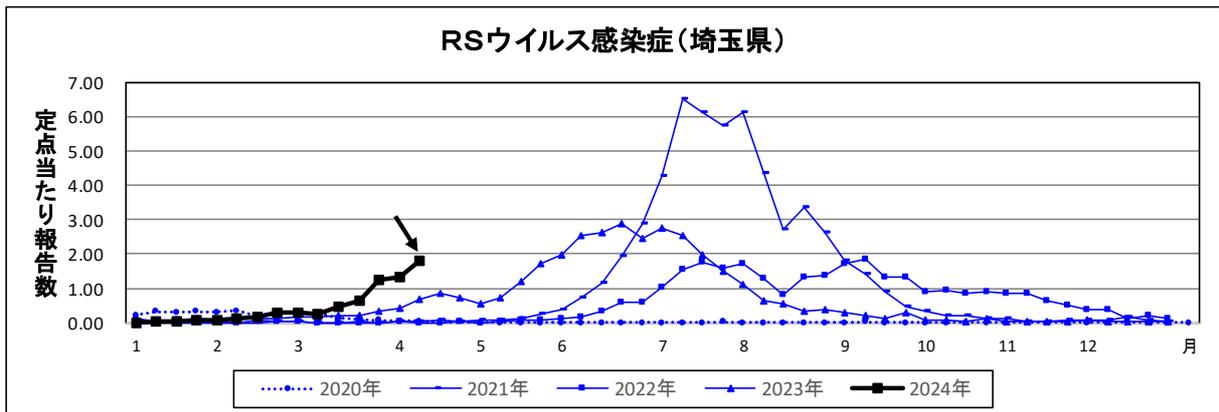
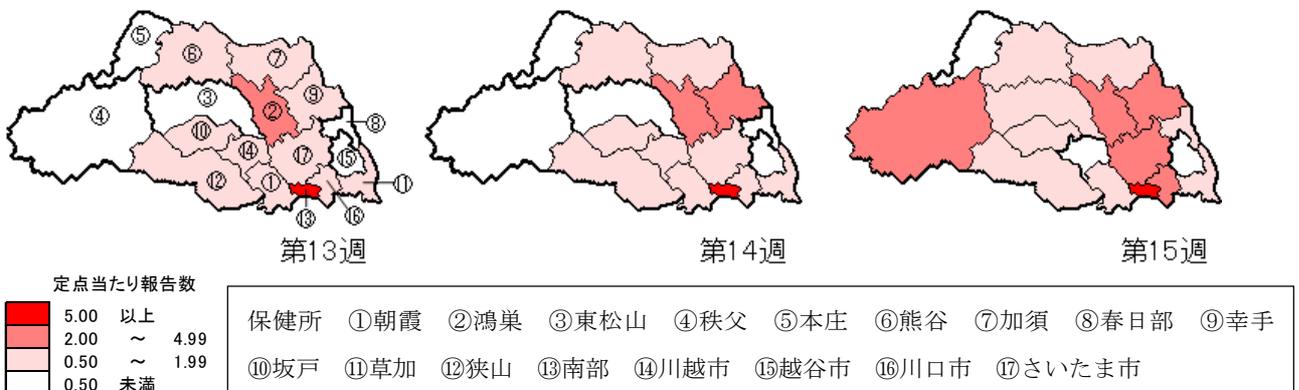
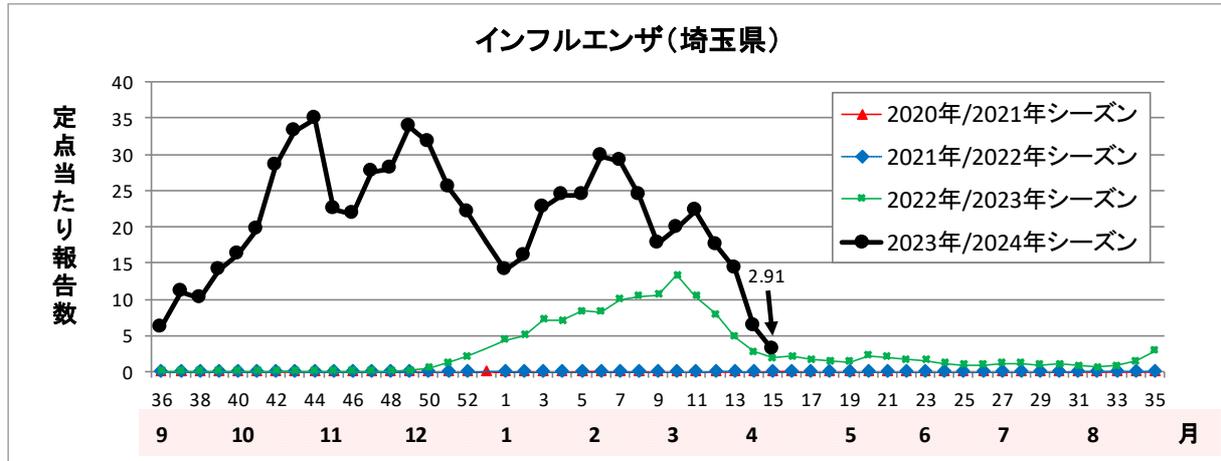


図2-2 RSウイルス感染症の保健所別流行状況の推移(2024年第13週～第15週)



<インフルエンザ流行情報（第15週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図3 インフルエンザの定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第15週)

(2024年4月16日 16:15集計)

	今週届出	累計		今週届出	累計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	2	33			
四類感染症					
E型肝炎		11	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		2	ニバウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサナル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	2	25
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		3	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	10	侵襲性肺炎球菌感染症	2	31
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		4	水痘(入院例に限る)		
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		19	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	9	121
急性脳炎		10	播種性クリプトкокクス症		2
クリプトスポリジウム症			破傷風		1
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	48	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		6	百日咳	1	13
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		4	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2024年3月分)

2024年3月の届出総数は、患者34人、無症状病原体保有者18人の計52人であった。前月と比べると患者数、無症状病原体保有者数ともに減少した。過去1年と比較して、患者数は減少し、無症状病原体保有者数は同水準であった。推定感染地域は国内24人、国外4人、不明24人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2023年3月～2024年3月)

	2023年*											2024年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計**	
総計	72	63	62	67	57	59	62	50	59	76	68	72	52	192	
年齢階級															
10歳未満	1	4	2	4	1	1	0	0	0	5	2	1	1	4	
10歳代	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0	2	0	2	
20歳代	6	7	3	7	14	5	6	3	2	8	2	6	8	16	
30歳代	7	10	5	1	1	3	2	3	6	7	9	6	1	16	
40歳代	10	3	2	5	2	1	3	2	4	3	4	8	7	19	
50歳代	7	4	7	6	5	5	10	5	10	5	6	9	4	19	
60歳代	6	9	8	8	9	5	10	10	8	12	6	12	2	20	
70歳代	14	10	11	12	14	19	7	10	8	10	16	10	10	36	
80歳代	14	11	18	17	7	16	17	15	17	17	18	14	15	47	
90歳以上	6	4	6	6	3	4	6	1	3	9	5	4	4	13	
性															
男	40	45	34	38	38	40	40	29	39	44	35	48	28	111	
女	32	18	28	29	19	19	22	21	20	32	33	24	24	81	
類型															
患者	47	35	46	35	47	49	49	34	42	41	46	43	34	123	
感染症死亡者の死体	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染症死亡疑いの死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	
無症状病原体保有者	25	28	16	31	10	10	13	16	17	35	21	28	18	67	
病型															
肺結核	31	24	29	27	37	35	38	28	26	31	31	30	19	80	
肺結核及びその他の結核	3	3	6	5	3	7	2	2	7	5	5	2	2	9	
その他の結核	13	8	11	4	7	7	9	4	9	5	10	11	13	34	
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	
無症状病原体保有者	25	28	16	31	10	10	13	16	17	35	21	28	18	67	
推定感染地域															
国内	46	44	38	41	27	37	42	31	35	50	47	37	24	108	
国外	3	3	3	3	11	5	4	1	6	3	3	8	4	15	
不明	23	16	21	23	19	17	16	18	18	23	18	27	24	69	

*:2023年の届出数は暫定値

** :2024年1月からの累積届出数

3月に診断された52人を病型別にみると、肺結核は20歳以上の年齢階級から計19人の報告があり、70歳代以上が12人で63%であった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2024年3月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	19	2	13	0	18	52
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	1	1
10歳代	0	0	0	0	0	0
20歳代	3	0	4	0	1	8
30歳代	0	0	1	0	0	1
40歳代	2	0	0	0	5	7
50歳代	2	0	1	0	1	4
60歳代	0	0	2	0	0	2
70歳代	3	0	2	0	5	10
80歳代	6	2	3	0	4	15
90歳以上	3	0	0	0	1	4

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第15週

4月8日~4月14日)

保 健 所	報告数	インフルエンザ #1	新型コロナウイルス 感染症	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス 感染症 (入院)
全 県	報告数	753	932	295	63	557	707	36	13	7	29	4	6	-	12	-	1	-	-	-	1	45
	定点当たり	2.91	3.60	1.82	0.39	3.44	4.36	0.22	0.08	0.04	0.18	0.02	0.04	-	0.29	-	0.08	-	-	-	0.08	3.75
朝 霞	報告数	66	89	16	5	36	83	-	1	1	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	3
	定点当たり	2.87	3.87	1.07	0.33	2.40	5.53	-	0.07	0.07	0.20	-	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	3.00
鴻 巣	報告数	61	96	28	12	48	38	2	1	2	1	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	3.39	5.33	2.55	1.09	4.36	3.45	0.18	0.09	0.18	0.09	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	17	11	5	1	23	14	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	2.13	1.38	1.00	0.20	4.60	2.80	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
秩 父	報告数	16	9	8	-	8	3	1	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	3.20	1.80	2.67	-	2.67	1.00	0.33	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数	26	24	-	-	-	2	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
	定点当たり	3.71	3.43	-	-	-	0.50	0.25	-	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.00
熊 谷	報告数	62	62	10	3	25	38	1	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3
	定点当たり	4.77	4.77	1.25	0.38	3.13	4.75	0.13	0.25	-	0.13	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	3.00
加 須	報告数	20	28	8	2	14	5	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	2.00	2.80	1.33	0.33	2.33	0.83	-	-	-	0.17	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	1.00
春 日 部	報告数	29	28	7	2	62	54	3	-	-	2	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	2.90	2.80	1.17	0.33	10.33	9.00	0.50	-	-	0.33	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	75	60	29	16	60	18	5	-	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	5.36	4.29	3.22	1.78	6.67	2.00	0.56	-	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	30	52	7	3	6	40	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9
	定点当たり	3.00	5.20	1.17	0.50	1.00	6.67	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	9.00
草 加	報告数	56	72	18	2	33	47	-	-	-	2	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	2.95	3.79	1.50	0.17	2.75	3.92	-	-	-	0.17	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	67	130	15	6	68	49	6	2	1	2	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	2.68	5.20	0.94	0.38	4.25	3.06	0.38	0.13	0.06	0.13	-	0.19	-	0.20	-	-	-	-	-	-	1.00
南 部	報告数	24	28	30	1	44	48	8	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	定点当たり	3.00	3.50	6.00	0.20	8.80	9.60	1.60	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00
川 越 市	報告数	26	26	2	1	40	42	1	-	-	3	1	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	1.86	1.86	0.25	0.13	5.00	5.25	0.13	-	-	0.38	0.13	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	53	58	2	2	11	49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	定点当たり	4.08	4.46	0.25	0.25	1.38	6.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00
川 口 市	報告数	52	62	34	5	28	82	3	-	2	5	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	3
	定点当たり	2.74	3.26	2.83	0.42	2.33	6.83	0.25	-	0.17	0.42	-	0.08	-	0.75	-	-	-	-	-	-	3.00
さいたま市	報告数	73	97	76	2	51	95	2	7	1	6	2	2	-	2	-	1	-	-	-	-	7
	定点当たり	1.70	2.26	2.71	0.07	1.82	3.39	0.07	0.25	0.04	0.21	0.07	0.07	-	0.22	-	1.00	-	-	-	-	7.00

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第15週 4月8日~4月14日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ #1	753	2	12	33	26	32	40	47	52	61	50	36	118	52	53	65	49	12	7	4	2
新型コロナウイルス感染症	932	11	18	40	21	14	12	13	13	8	4	10	41	32	87	105	112	131	81	98	81
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~						
RSウイルス感染症	295	27	42	103	63	33	11	9	1	1	-	1	4	-	-						
咽頭結膜熱	63	-	2	10	13	7	10	2	2	5	2	1	3	2	4						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	557	-	4	28	41	58	57	65	51	64	57	34	65	4	29						
感染性胃腸炎	707	9	39	83	77	62	72	81	39	51	38	32	76	3	45						
水痘	36	-	1	2	1	1	1	4	-	3	5	11	3	2	2						
手足口病	13	-	-	7	1	1	-	1	1	1	-	-	1	-	-						
伝染性紅斑	7	-	-	-	3	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-						
突発性発しん	29	-	5	13	7	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	4	1	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	6	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-	1	1	-	-						
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	12	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	1	5	1	2	-	-	-
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(入院)	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新型コロナウイルス感染症(入院)	45	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	1	2	2	1	34				

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第13週 (3月25日～3月31日)

令和6年4月17日

<全国情報>

インフルエンザ/ COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は愛媛県(25.80)、新潟県(24.12)、富山県(21.54)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は309例と前週と比較して増加した。都道府県別では44都道府県から報告があり、年齢別では0歳(15例)、1～9歳(137例)、10代(50例)、20代(6例)、30代(19例)、40代(9例)、50代(9例)、60代(10例)、70代(24例)、80歳以上(30例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第6週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は秋田県(12.27)、岩手県(9.16)、宮城県(9.07)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,926例と前週と比較して減少した。都道府県別では46都道府県から報告があり、年齢別では0歳(40例)、1～9歳(49例)、10代(12例)、20代(26例)、30代(25例)、40代(27例)、50代(95例)、60代(196例)、70代(497例)、80歳以上(959例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第2週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は奈良県(3.38)、大阪府(2.63)、福井県(2.36)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第10週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(2.59)、富山県(2.21)、宮崎県(1.75)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(7.43)、北海道(7.32)、新潟県(6.27)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は富山県(11.21)、大分県(9.00)、愛媛県(7.81)である。手足口病の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.97)、大分県(0.92)、徳島県(0.83)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は岩手県(0.10)、東京都(0.09)、滋賀県(0.08)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は愛媛県(0.30)、高知県(0.16)、大分県(0.14)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位2位は島根県(0.09)、岩手県(0.08)、大分県(0.08)である。

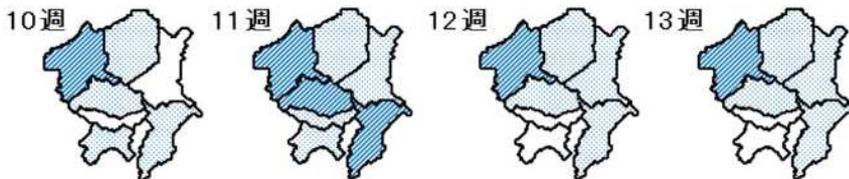
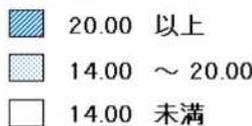
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.71)、佐賀県(0.50)、大阪府(0.39)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。4都道府県から6例報告があり、年齢別では1～4歳(3例)、5～9歳(3例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第13週(3月25日～3月31日):通巻第26巻 第13号 より

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、群馬県(20.54)からの報告が多い。

インフルエンザ



		2024年 13週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	55,189	18,854	1,741	1,148	1,725	3,686	2,899	3,903	3,752
	定点当たり	11.18	12.36	14.51	15.11	20.54	14.18	14.28	9.40	10.22
新型コロナウイルス感染症	報告数	25,179	6,940	746	381	506	1,301	1,206	1,446	1,354
	定点当たり	5.10	4.55	6.22	5.01	6.02	5.00	5.94	3.48	3.69
RSウイルス感染症	報告数	2,494	720	28	52	61	204	47	190	138
	定点当たり	0.80	0.75	0.37	1.08	1.15	1.25	0.37	0.73	0.60
咽頭結膜熱	報告数	1,970	337	27	18	39	57	63	51	82
	定点当たり	0.63	0.35	0.36	0.38	0.74	0.35	0.50	0.19	0.36
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	11,175	3,415	422	160	183	642	608	739	661
	定点当たり	3.57	3.57	5.63	3.33	3.45	3.94	4.83	2.82	2.87
感染性胃腸炎	報告数	12,886	3,573	215	84	244	761	552	1,109	608
	定点当たり	4.11	3.73	2.87	1.75	4.60	4.67	4.38	4.23	2.64
水痘	報告数	407	148	16	3	7	39	11	49	23
	定点当たり	0.13	0.15	0.21	0.06	0.13	0.24	0.09	0.19	0.10
手足口病	報告数	609	74	2	6	26	9	5	16	10
	定点当たり	0.19	0.08	0.03	0.13	0.49	0.06	0.04	0.06	0.04
伝染性紅斑	報告数	87	47	1	-	1	8	4	23	10
	定点当たり	0.03	0.05	0.01	-	0.02	0.05	0.03	0.09	0.04
突発性発しん	報告数	705	190	6	13	13	38	23	51	46
	定点当たり	0.22	0.20	0.08	0.27	0.25	0.23	0.18	0.19	0.20
ヘルパンギーナ	報告数	77	14	2	1	3	1	2	5	-
	定点当たり	0.02	0.01	0.03	0.02	0.06	0.01	0.02	0.02	-
流行性耳下腺炎	報告数	81	31	2	-	2	6	2	9	10
	定点当たり	0.03	0.03	0.03	-	0.04	0.04	0.02	0.03	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	8	4	-	-	-	3	-	-	1
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	0.07	-	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	356	146	24	9	2	23	18	11	59
	定点当たり	0.51	0.71	1.50	0.75	0.14	0.55	0.53	0.28	1.18
細菌性髄膜炎 #2	報告数	10	3	-	-	1	-	1	1	-
	定点当たり	0.02	0.03	-	-	0.11	-	0.11	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	6	1	1	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	0.08	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	43	3	1	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.09	0.03	0.08	-	-	-	-	0.08	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	6	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

- 感染症発生動向調査 2024年**
- ▶ [感染症の流行状況 2024年第1週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年第2週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年第3週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年第4週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年第5週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年第6週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年第7週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年第8週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年第9週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年第10週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年第11週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年第12週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年第13週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2024年第14週](#)

感染症の流行状況 2024年 第15週

2024年第15週（4月8日～4月14日）の要点

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第11週以降増加傾向にあり、過去4年の同時期と比較しても高い水準にあります。

咳エチケット、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↓	★★	手足口病	→	★
新型コロナウイルス感染症	↓	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
RSウイルス感染症	↑	★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★	流行性角結膜炎	↓	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい→★、★★、★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

